

# アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

認定レベル	認定アセットマネジメント・シニア・プリンシパル (CSAM)
認定レベル記述	<p>重要な資産ポートフォリオに関連するビジネスの重要な領域でのアセットマネジメントフレームワーク (AMF) の設計、確立、更新、適用の管理監督の責任を取るための知識とスキルを必要とします：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• アセットマネジメント(AM)の認知されたすべてのドメイン、相互依存性、統合についての認識と高度な理解。</li><li>• 統合されたAMFの主要な要件を理解し、高度に理解しています。</li><li>• 複雑な知識を合成し、統合する能力（ドメインの専門家の範囲からそのような知識を引き出すことを含む）。</li><li>• <b>メタ認知能力</b></li><li>• リーダーシップとマネジメント力。</li><li>• 複雑な知識を様々な人に伝える能力。</li><li>• 他の組織の管理システムやプロセスとの統合/関係性を管理する能力。</li></ul> <p>発行時点では、この認証にはライセンス、立法、または規制上の要件は適用されません。</p>
認証の適用	<p>この認証は、組織の戦略的目標に基づいて、組織のビジネスの重要な領域において、全体的で統合されたAMFの構築、更新、適用の管理監督に責任を持つ実務者（またはその専門家アドバイザー）に適用されます。</p> <p>一般的には、複数の分野にまたがるAMチームのリーダーとして、またはAMエキスパート (AME) としての資格を取得することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 方針、目的、戦略、戦術、プロセス、および手順を提案します。</li><li>• AMアプリケーションと継続的な改善を推進します。</li></ul>
エレメント	パフォーマンス基準

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

このコンピテンシーのための認定者の本質的な成果を記述しています。

### 1 AMポリシーの見直しと開発をリードする

### 2 戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP) の見直しと開発を主導します。

パフォーマンス基準は、要素の達成度を示すために必要なパフォーマンスを記述しています。太字イタリック体のテキストが使用されている場合、さらに詳しい情報は、要求されているスキルや知識、および/または範囲の説明書に記載されています。パフォーマンスの評価は、エビデンスガイドに沿ったものでなければなりません。

1.1 AMポリシーの策定に関連するプロセスや手順を含む**AMF文書**や**アーチファクト**を確認しています。

1.2 ポリシーの選択肢を特定、分析し、利害関係者と協議してポリシーを選択します。

1.3 方針は、組織が資産を管理する際に採用すべき原則を動機付け、全体的に示している。

1.4 方針は文書化され、採択され、利害関係者に伝達されます。

2.1 関連する**AMF文書**と**アーチファクト**を特定・確認し、プロセスと変更・改善の必要性と戦術を指摘し、利害関係者と協議し、実施プロセスと手順を指摘し、責任を配分し、実施計画を採択する。

2.2 **SAMP**の開発/レビューに必要なインプットを確立し、信頼性のレベルを決定する。

2.3 戦略的AMの文脈と状況の全体的な評価を行い、利害関係者と確認する。AMの目標を見直し/確立し、戦略的オプションを特定/分析し、統合された戦略的AMシナリオ（資産と経営慣行に関連する）を特定します。

2.4 様々なAMシナリオの戦略的メリットを検討し、利害関係者の意見を取り入れて望ましいAM戦略を決定し、文書化し、正式な組織的採用を確保します。**SAMP**は関連する利害関係者に伝達されます。

2.5 戦略的概要は、重要な資産ポートフォリオ/セクターに関連するAMプランの準備をお知らせするために作成さ

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

れ、必要に応じて、共通のテーマ、整合性、統合、調整の必要性を強調します。

- 3 AM計画（AMP）のレビューと開発をリードします。
- 3.1 AM計画の策定プロセスと手順、および関連コンテンツの利用可能性は、それぞれのAMF文書とアーチファクトから決定され、AMPの改善ニーズがあれば、すべて文書化され、利害関係者との協議で検討され、各AMPの戦略的概要が策定されます。各AMPの準備のための戦術、責任分担、調整・統合要件、スケジュールを決定し、合意します。
- 3.2 組織（またはそれぞれの責任領域内）の管理下にある資産ポートフォリオ全体のAMPの開発のための合意されたプロセス、戦術、スケジュールの他の人による適用は、有効性、概要と合意された手順、進捗状況、品質の遵守を監視します。
- 3.3 モデル化、分析、適切なライフサイクル管理戦術の決定、一般的なAMプラクティスの評価、改善計画の決定、特定の資産またはポートフォリオのAMPの作成は、戦略的概要、確立されたプロセスと手順、品質要件を遵守して、必要に応じてポートフォリオやドメインの専門家と協議しながら実施されます。
- 3.4 AMPの品質は、組織の要求事項や義務に従って保証され、検証され、適切な場合には是正処置が特定され、合意され、対処されます。最終的な書類はモチベーションを高め、組織に推薦して承認を得ます。
- 4 AM計画の実施状況を監視する
- 4.1 ステークホルダーには、AM計画の実施に関連したモニタリングと**報告義務**を認識させる。これは、目標とする資産のライフサイクル**活動**とAM実践改善活動に関連しています。
- 4.2 合意された報告要件への遵守が監視され、必要に応じて是正措置が取られます。同様に、目標とするリスク管理、財務管理、業績管理のプロファイルに対してイニシアチブを監視し、必要に応じて利害関係者と連携して是正措置を検討します。進捗状況の報告は、合意された手順に沿って、組織のAM担当委員会/責任者に行われます。
- 4.3 是正措置は、組織のAM担当委員会/責任者の指示に基づいて実施される。

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

- 5 **AMF文書とアーチファクトのレビューと開発をリードする**
- 5.1 利用可能な **AMF 文書とアーチファクト**が決定されます。実施戦術、変更管理の意味合い、準備のためのスケジュール、責任の配分は、ステークホルダーとの協議の上で決定されます。
- 5.2 実施の進捗状況を監視し、アウトプットの質を見直し、内容、整合性、統合性をチェックします。変更管理の必要性を確認します。最終的な **AMF 文書とアーチファクト**を組織が承認するための動機付けがなされ、承認後、関連する利害関係者に要件が伝達されます。
- 6 **AMF文書とアーチファクトの実施状況を監視する。**
- 6.1 **AMF 文書とアーチファクト**に対する合意された改善の実施状況を報告するためのプロセスと要件が、それぞれの利害関係者との協議の中で確立され、文書化され、伝達されている。
- 6.2 合意された報告書の遵守状況を監視し、必要に応じて是正措置を講じます。進捗状況を監視し、合意された変更を達成するために必要な場合には、介入/是正措置を検討します。進捗状況の報告は、組織の **AM 担当委員会/責任者**に行われます。
- 6.3 是正措置は、組織の指名された **AM/責任者委員会**の指示に基づいて実施される。
- 7 **AM実践改善計画の実施状況を監視**
- 7.1 合意した **AM 実践改善活動**（**AM 計画**に記載され、**SAMP**にまとめられている）の実施の進捗状況と品質を報告するためのプロセスと要件が、それぞれの利害関係者と協議の上で確立され、文書化され、伝達されています。
- 7.2 実践改善の質は、合意された手順に従って評価され、必要に応じて是正処置の必要性が指摘されます。進捗状況と品質に関する報告は、組織の **AM 担当委員会/責任者**に行われます。

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

- 7.3 是正措置は、組織の AM 担当委員会/責任者の指示に従って実施されます。
- 8 AMプラクティスの調整、統合
- 8.1 組織の AMF に適用される AM の各ドメインのすべてにおいて、統合された分析と報告を含めて、整合性と効果的な統合が達成されています。
- 8.2 法定報告を含む AM の財務側面の適切な適用と解釈を表示しています。
- 9 AMとしてのリーダーシップを提供
- 9.1 AM におけるリーダーシップと個人開発の機会は、多様な技術的、財政的、文化的背景を持つステークホルダーに提供されています。
- 9.2 支援的な職場文化が採用され、AM の各領域のステークホルダーが AM の原則をしっかりと理解していることを検証し、保証します。
- 9.3 プロの判断力を発揮。
- 9.4 利害関係者は、それぞれのニーズを決定するために従事しています。
- 9.5 健全な技術的判断力と、AMにおける業界慣行の認識と理解が示されています。
- 9.6 効果的な文章と口頭でのコミュニケーション能力が発揮されます。

### 必要なスキルと知識

これは、必要不可欠なスキルや知識とそのレベルを説明します。

#### 必要なスキル：

重要な資産ポートフォリオ（その性質、規模、リスクエクスポージャーの観点から）に関連するラインマネジメント、ドメインエキスパート、またはコンサルティングサポートの役割において、認知されたグッドプラクティスに沿って、以下のコンピテンシーを実証していること：

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

- AMポリシーの見直しと開発をリードする。
- 戦略的アセットマネジメント計画 (SAMP) のレビューと開発を主導する。
- AMプラン (AMP) のレビューと開発をリードする。
- AM計画の実施状況を監視する。
- **AMF**ドキュメントとアーチファクトのレビューと開発をリードする。
- **AMF**文書とアーチファクトの実装を監視する。
- AM実践改善計画の実施状況を監視する。
- AMの実践を調整し、統合する。
- AMのリーダーシップを提供する。

以下の能力があること：

- 滅多に遭遇しない問題や問題に対処するために、AMの専門家のための基準や実践規範によって網羅されていない問題に対処する。
- ステークホルダーや他のAM分野との相互作用を含め、幅広いAMの課題に関わり、課題間の相互作用から生じる重大な問題を解決する。
- すべての機能要素を統合し、**AMF**に文書化された完全で一貫性のある管理システムを形成する。
- 代替的なアプローチを概念化し、それぞれのリスクと利点を理解し、定義し、情報に基づいた専門的な判断を行う。

**必要な知識：**

1. 役割に関連するドメイン分野の最低資格（または職場で開発された認識された知識）。
2. 以下の認知（ブルームの分類法の2001年改訂版に基づく、思考、学習、理解）のレベルを満たす資産運用の最低資格または認定されたトレーニング：
  - 認知的な次元:分析すること：
  - 知識の次元：**メタ認知**；および
  - マトリックス活動：順序をつける、説明する、区別する、達成する、分類する、実験する、計算する、要約する、解釈する：

これは通常、大学または認定されたトレーニングプロバイダーの学位となりますが、より低いレベルの基礎資格と適切な経験があれば、同等の評価を受けることができます。注：一般的に、基礎資格のレベルが低いほど、この仕様の要求される知識やスキルに沿った実践的な経験を示す必要があります。)WPiAMでは、資格の適合性を審査します。

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

3. 認定 アセ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト  
アセッサ (CAMA) 試験 (WPiAMによって設定されたもの) の合格点、または同  
等のもの (WPiAMによって合意されたもの)。

### 必要な経験：

AM環境で8年以上の経験をお持ちの方。

AM専門家の役割と責任、組織の活動の規模、複雑さ、重要性、資産の重要性によっては、AMの実践を成功させるためのポートフォリオを構築するのに必要な時間が追加で必要になる場合があります。

### 必要とされる継続的な専門能力開発

初回認定後、継続的な専門能力開発 (cpd) により、専門家としての能力を維持する。認定資格の役割に沿って関連する業務を実施した結果、最低50CPDポイント (年間10CPDポイントとして認定されます) と、以下の認定資格 (公称時間あたり1CPDポイントとして認定されます) を取得することができます。

- アセットマネジメントおよび業界関連の会議、講演会、プレゼンテーション、研修コースへの出席および参加。
- メンタリングの提供
- ボランティア委員会への参加。

### レンジステートメント

範囲ステートメントは、全体として認証レベルのコンピテンシーに関連しています。それは、パフォーマンスに影響を与える可能性のある様々な作業環境や状況を可能にします。パフォーマンス基準の太字斜体の文言は、以下に詳述します。

ドメイン・サブジェクトの  
等価性： グローバル認証スキーム (GCS) では、「ドメイン」は、グローバル・フォーラム・フォー・メンテナンス・アンド・アセット・マネジメント (GFMAM) ランドスケープにおける「サブジェクト」 (またはサブジェクトのグループ) への参照と同等と考えられています。

ドメインはまた、特定の資産タイプまたはクラス、重要資産、または施設、ネットワーク、またはプロセスラインなどの空間的に離散的な資産グループの戦術的なAMを指す場合があります。

報告義務には以下のような  
ものがあります。 リスク管理、財務管理、業績管理は、組織のAMプロセスと手順に沿ったものである。

アセットマネジメントに含  
まれること： 資産会計、資金調達戦略、コスト管理、収益の最適化、費用/便益分析、正味現在価値(NPV)評価、収益率(RoR)決定、および類似の技術。

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

- AMのプロセスと手順：** 財務、リスク、業績管理の統合モデルと技術、運用管理プロセス、ライフサイクルとデータ管理モデル、役割と責任、AMポリシー、AM目的、SAMP、AMPを効果的に実施するために組織が採用しているフォーマットとサポートシステム。
- AMフレームワーク（AMF）：** 組織がAMを実施するために採用している管理システムで、AMプロセスと手順、AMポリシー、AM目標、SAMP、AMP、戦略的、戦術的、運用的な管理システムなどが含まれます。
- AMFの文書とアーチファクトには以下のようなものがあります：** AMFの実装に必要なドキュメントとアーティファクト。**AMFの文書とアーチファクト**は、個別のものであっても、AMの構成要素であってもよいが、他の組織の管理システム、プロセス、慣行の関連部分を集約した等価なものに引き込むことで明らかになる場合もある。例えば、組織全体の文書管理システムツールは、**AMF**の一部であってもよい。
- 活動の構成：** 組織が管理または意思決定を行うために利用するツール、プロセス、慣行の適用：
- 法要件
  - リスク、パフォーマンス、財務管理。
  - 資産の性能、容量、利用、臨界性。
  - 資産の可用性、信頼性、保守性、サポート性。
  - 資産の取得、作成、運用、保守、廃棄
  - 環境および社会的影響
  - 安全
  - コスト/手頃な価格/支払う意思があること
  - 資産価値と減価償却
  - **AMF**の性能。
  - ワークプレイスのリソーシング、コンピテンシー、文化
  - 代替技術
- メタ認知能力とは：** 「考えることを考える」能力。メタ認知スキルの適用とは、組織のメタ認知、つまり組織が特定の方法で考え、行動したり、特定のプロセスや慣行に従ったりする方法や理由を理解し、それに応じて管理することです。メタ認知能力をもって下記を行います。



## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

学習組織として最も適切なプロセスと実践の評価と選択、適切な文化の開発と維持、パフォーマンス管理、運営環境の適切な変更の推進、目標設定、実施、レビュー、分析、意思決定のための適切な方法論、プロセスと実践の決定

## エビデンスガイド

エビデンスガイドは評価に関するアドバイスを提供しており、パフォーマンス基準、必要なスキルと知識、および範囲ステートメントと合わせて読まなければなりません。

このユニットの能力を実証するために必要な評価と証拠の重要な側面

以下のようなエビデンスが不可欠：

- 総合的な実務経験の性質と期間の概要を要約したもの（AMで8年以上）。注）AM 専門家の役割と責任、組織の規模と複雑さ、資産ベース（および資産の重要性）に応じて、AM 実践を成功させたポートフォリオを構築するのに必要な時間は、追加の時間（例えば、CSAM の場合は8～12年以上）が必要になることがあります。
- 資産ポートフォリオの性質、規模、重要性、それぞれのAMの役割など、AMの業務経験の性質、日付、期間の概要をまとめたもの。
- 登録された専門家による申請者の経験と貢献/役割の裏付け。
- コンピテンシー評価をサポートするための主要な要素の提出（例：AM ポリシーの制定/見直し、SAMP、AM プラン、AM プロセスと手順、パフォーマンスプラン、コンプライアンスレポートの作成、AM 実践評価と改善計画など）。
- 倫理綱領へのコミットメント。
- ドメインの資格や経験を証明するもの。注）認知された正式な資格を取得することは、知識を習得するための一つの経路であるが（コンピテンシーベースのトレーニングの場合は、スキルも）、WPiAM は、低レベルの基礎資格と適切な経験が、より高いレベルの資格と同等であることを認識していること。
- AM の資格や経験を証明するもの。注）認知された正式な資格を取得することは、知識を習得するための一つの

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

経路であるが（コンピテンシーベースのトレーニングの場合はスキルも）、WPiAM は、低レベルの基礎資格と適切な経験が、より高いレベルの資格と同等であることを認識していること。

- 認証後 3 年間の各期間については、各期間終了後 6 カ月以内に、継続的な専門能力開発の概要を提出し、特定の要請があれば、28 日以内に裏付けとなる証拠を提出すること。

評価のための状況と具体的なリソース

評価は、資産ポートフォリオの性質、規模、重要性を示す証拠へのアクセスを確保しなければなりません。

評価方法

実践的なスキルや知識を評価するために、さまざまな評価方法が用いられます。次のようなものが適切です：

- 申請者から提出されたアーティファクトのレビュー。申請者の宣言と文書作成における申請者の具体的な役割を確認するための参照によってサポートされていること。
- 査定者によって要求された問い合わせ/明確化に対する申請者の応答のレビュー
- 面接（任意-コンピテンシーの確認や明確化のために必要な場合）。

評価のためのガイダンス情報

産業分野、職場、仕事の役割に関連した総合的な評価をお勧めします。実践的な評価が使用されるすべてのケースでは、必要な知識を評価するためにターゲットを絞った質問と組み合わせで行われます。

アセスメントのプロセスと技術は、候補者の言語能力とリテラシー能力、および実行される作業に適したものでなければなりません。

申請者が提出されたエビデンスを共同開発したチームの一員であった場合、申請者の役割は明確に定義されていなければならず、職場での確認や評価者による面接、または知識と能

## アセットマネジメントのシニアプリンシパル認定 (CSAM)

力を実証するためのその他の検証が必要となる場合があります。

応募者は、成熟した AM 環境で運用している場合もあれば、形成段階にある環境で運用している場合もあります。申請者が活動している組織の成熟度は、必然的に申請者の活動方法に影響を与え、それゆえに提出された証拠を考慮に入れる必要があります。評価されるのは申請者の能力であり、組織の成熟度ではありません。

資格の国別解釈、及び必要に応じて本仕様書に記載されているその他の要件については、WPiAM が確認します。